



## 日産合成工業株式会社 メールマガジン

2025・3 第208号



### 桃の節句

3月3日は「ひな祭り」ですね。昔は2月にもなると、押し入れから7段飾りを出してきて、家族総出で組み立てたものですが、近年では少子化や住宅事情もあってか、コンパクトな「親王飾り（二人飾り）」が人気ようです。ひな祭りの歴史は古く、その起源は平安時代中期（約1000年前）にまでさかのぼり、三月の初めの巳の日（上巳の節句）に、無病息災を願う祓いの行事として始まりました。一方、その頃の上流の少女たちの間で“ひいな（お人形）遊び”（今で言うまごど遊び）というものが流行っていて、長い月日の間にこうした行事と遊びが重なり合い、また、女の赤ちゃん誕生を祝う初節句の風習とも相まって、江戸初期から中期にかけて現在のようなひな祭りとなりました。もともとは桃の花が咲く時期である旧暦の3月3日（新暦の4月頃）に行われていたため「桃の節句」と呼ばれますが、新暦の3月3日に行なうことが一般的になった明治以降は、実際にはまだ桃は咲かないため、桃の造花を用いることが多いそうです。

### “つるし雛”

ひな祭りには雛人形を飾るのが一般的かと思いますが、様々な小さなお人形をたくさん吊るす“つるし雛”という珍しい風習があり、山形県の「傘福」、静岡県「雛のつるし飾り」、福岡県の「さげもん」は、「全国三大吊るし飾り」と呼ばれています。どの地域においても起源は江戸時代末期と考えられており、まだ雛人形が高価なこの時代、特別裕福ではない一般の家庭でお母さんやおばあちゃん、叔母さんから近所の人たちまで、みんなで少しずつ小さな人形をつくって持ち寄って「つるし雛」が始まったと言われています。つるし雛のモチーフは、動物やお花、衣服、遊び道具や野菜など多種多様ですが、いずれも「衣食住に困らないように」との願いを込めて作られるものです。



「つるし雛展」（秩父宮記念公園）

今回「つるし雛展」取材した秩父宮記念公園（静岡県御殿場市）は、昭和16年9月から約10年間、秩父宮両殿下が実際にお住まいになられていたご別邸を整備した公園（敷地面積；約1万8千坪）で、山野草を始め四季折々の花々を楽しむことができます。お近くにお寄りの際はぜひ足を運んでみてください。



秩父宮殿下像と富士山（秩父宮記念公園）

なお、テレビのトークバラエティー番組などで「ひな壇芸人」という、複数段になっている雛壇の後方に座るジャンルがありますが、『笑点』の大喜利や『天才・たけしの元気が出るテレビ!!』

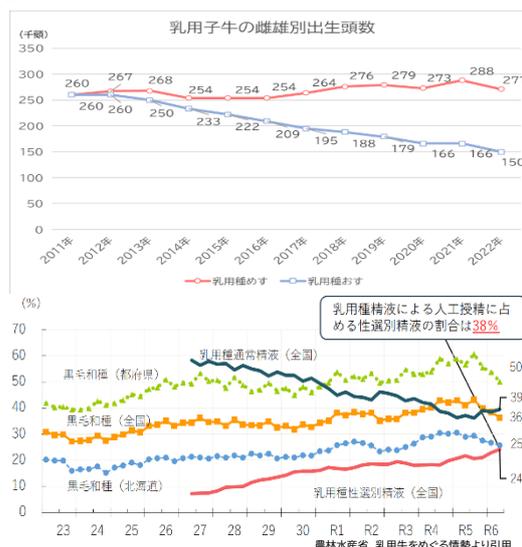
（1980年代）に始まり、『踊る!さんま御殿!!』や『行列のできる法律相談所』（1990年代後半から2000年代初頭）を経て確立され、時代とともにその役割も変化してきているそうです。（O）

## 乳用子牛の雌雄について

生まれてくる赤ちゃんの性別を決めるのは、性染色体と呼ばれる組み合わせによるものです。性染色体には、XとYの2種類があり、女兒の場合はXX、男児の場合はXYという組み合わせになります。卵子は、かならずX染色体から成るため性別を決めるのは精子によって決まります（X精子だと女兒、Y精子だと男児）。世界の出生性比を見た時に、男児と女兒が生まれる比率(出生性比)は、105：100となり、若干男児の方が多くなりますが、これはY精子の方が活発に動くためとも言われております。この出生性比については、自然交配の場合は、ウシでも同様で雄の個体の比率が若干高くなる傾向があるとされています。

それでは実際の出生性比はどうなっているのでしょうか、乳用子牛での推移を見てみます(右上図)。2011年を境に、乳用雌子牛、乳用雄子牛の出生頭数の上下が逆転しています。それ以降、乳用種の出生子牛の内、乳用種めすが占める割合は高くなっているのが分かります。

これは、雌雄選別精液の普及に伴って、乳用種の雌子牛を選んで出生させているためと考えられます。データを見ても平成27年の集計以降、年々乳用種の性選別精液の使用率が上昇し、通常精液の使用率が低下しているのが分かります。(右下図)



## 雌雄判別技術について

雌雄選別精液を含む雌雄判別技術は、まずは受精卵の性別判別から始まり、その後、さらに人工授精時に制御する手段が望まれ研究開発が進み、近年雌雄判別精液が実用化されました。性選別精液の原理について簡単に説明します。前述のように、胎仔の性別を決定するのは、X精子か、Y精子のどちらが受精卵を形成するかによります。このX精子とY精子とでは、X精子のDNA含量が約3.8%多く、X染色体とY染色体では、X染色体の方がわずかに大きいとされています。このDNA含量の違いを利用して、細胞膜を通過し、DNAに可逆的に結合する蛍光試薬(Hoechst：ヘキスト)を結合させると、X精子の方が取り込まれる蛍光試薬の量が多くなります。フローサイトメーターと呼ばれる細胞分析装置を用い、蛍光量の違いを利用して、X精子とY精子を分離します。しかしながら、100%完璧な識別というわけではなく、およそ90%以上の正確度で選別されるとされており、現在の雌選別精液が90%の確率でメス子牛になるとされている理由はこれに起因します。また精子を選別する、フローサイトメーターを通す際に若干の負荷が掛かるため、一般的に性選別精液の受胎率は、下がる傾向にあるとされています。が、実際の管理や、人工授精時の条件によっては通常精液と遜色のない結果も報告されているため引き続き研究が待たれている所です。このほか、まだ性選別精液の運用に際して課題は残っています。①使用する精液中の精子の活性が低い雄個体は、雌雄選別精液としては使用が困難。②通常精液と比較し、2～3倍程度のコストがかかることもあり、受胎率が低い経産牛ではなく、未経産牛への使用が推奨されている点です。確実に以前よりも広く雌雄選別精液は、広がっており、研究各所でかなりの知見、データが増えている事か思います。近い将来この2つの課題についても、新たな方策、研究報告されるのを心待ちにしております。(T)

## お知らせ

### 印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

### メールマガジンへの登録・ご質問等

メールマガジンの配信の停止や登録内容の変更、お問い合わせ、ご意見・ご要望等々は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

### アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく申し上げます。

### QR コード

QR コードから、[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできます。

